

区政を問う 質問と答弁 要旨

代表質問は、区長所信表明を受けて、各会派の代表議員5人から質問がありました。

一般質問は、11人の議員から広範囲の区政課題を質問し、区長等から答弁がありました。その一部を紹介します。

詳細は、ホームページのインターネット議会中継(右コード)で録画をご覧ください。

代 表 質 問

安心して暮らせるまちづくり

自由民主党目黒区議団 **田島 けんじ** 議員

公民連携のまちづくり

問 多様化・複雑化する地域課題に的確に対応していくため、区民・団体・企業・教育機関・行政などがどのようにネットワークを形成し進めていくのか。

区長 企業、教育機関、団体などに呼び掛けて、公民連携プラットフォーム(※1)の立ち上げを考えている。

財政基盤の考え方

問 急激な減収に耐えるための備えと、将来の区政需要に対応する安定的な行財政運営の考えを伺う。

区長 財政運営上のルールによる取り組みをベースとしながら、実情に応じた

する。

住区住民会議のあり方

問 住区における地域課題を解決するための協議組織としてのあり方とは。

区長 各地域の実情と状況を踏まえながら施設管理の民間事業者を導入する。住区住民会議の負担を軽減したうえで、住民参加・協議の場という機能を十分に発揮できる環境を整える。

高齢者の難聴対策

問 加齢に伴う難聴対策として補聴器助成を進めるべきだが区の考えを伺う。

区長 他自治体の購入費助成による効果なども踏まえ、効果的な助成制度の構築を検討する。また、医師会とも協議を行う。

自由が丘駅周辺地区の街づくり

問 再開発が進む自由が丘駅周辺地区の街づくりの大きな方向性を伺う。

区長 都市計画道路の拡幅整備を基軸に、築き上げてきた自由が丘の魅力を一層高めつつ、市街地・道路・鉄道の三位一体となった街づくりに取り組む。

【用語解説】

※1 公民連携プラットフォーム 街づくりの担い手である企業、教育機関、団体などが集まって、まちの将来像を議論し、描き、その実現に向けた取り組みについて協議・調整を行うための場。

※2 DX(デジタル・トランスフォーメーションの略称) ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面より良い方向に変化させること。

困難な時代を開く鍵は、「現場」の声を聴くことだ！

公明党目黒区議団 **関 けんいち** 議員

物価高騰対策

問 (1)子育て応援給付を対策としたが、物価高が続く際の今後の展開を伺う。(2)プレミアム付デジタル商品券の紙による発行の併用について伺う。

区長 (1)国や都の物価高騰対策の状況や財源を含めて俯瞰した上で、適時適切に対応する。(2)実施主体となる区商店街連合会の意見、要望も踏まえ、紙商品券の販売は考えていない。

危惧される感染症への対応

問 (1)累計死者数が昨年12月より急

増しているコロナに対し、今一度効果的な対策が必要では。(2)带状疱疹ワクチン助成の50歳以上の制限撤廃を伺う。

区長 (1)基本的な感染対策の上に流行状況に応じた対策を取り入れていくことが大切である。(2)薬事承認された接種対象は、50歳以上である。

子育て支援について

問 (1)0~2歳児の集団生活の利点を評価し、親の就労が条件の保育所入所基準の緩和を伺う。(2)産前産後伴走型支援の、デリケートな取

り方を伺う。

区長 (1)就労要件の緩和は、考えていない。(2)妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の一層の充実に努める。

今日的社会課題について

問 (1)保育士の幼児虐待はなぜ起きるのか。働く人の声を聴き、行動変容することについて伺う。(2)介護現場での利用者虐待は、働く人の心が病む環境ではないのか。職員を支えるケアを伺う。

区長 (1)不適切保育を未然に防止するための研修を実施し、巡回指導や指導検査の際に、各園の状況を踏まえた個別の助言・指導を引き続き行う。(2)職員が安心して仕事ができるような職場環境づくりに向けて、さまざまな取

組みを行う。

生活スタイルの変化

問 (1)節電意識を醸成するきっかけに、電気使用量の見える化等について伺う。(2)資源回収は、週1回では足りない。回収頻度見直しについて伺う。

区長 (1)HEMS(※)の効果なども含め、分かりやすい周知啓発に努める。(2)資源回収を週2回にすることは難しい。

【用語解説】

※ HEMS(ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略称) 家庭用エネルギー管理システム

(2)区独自の夏季見舞金の支給は、慎重な検討が必要である。(3)改めて現在の入浴券の使用状況等を、支給対象となっている世帯に確認する。

介護施設の拡充を

問 (1)年金でも入居できる特養ホームをユニット型とともに多床型も含め整備すべきだが、いかがか。(2)介護老人保健施設などを誘致するためイニシアチブを発揮すべきだが伺う。

区長 (1)都における特別養護老人ホーム等施設整備基本方針では、施設を新設、増築、改築する際は、ユニット型で整備することを原則にしている。今後、民間の特別養護老人ホームの整

物価高騰から区民生活を支援し、福祉施策の拡充を！

日本共産党目黒区議団 **岩崎 ふみひろ** 議員

平和の取り組みの発展を

問 かつてない戦争へのリスクが高まり憲法が軽んじられている中、平和の取り組みを発展させ「平和を語るつどい」など開催すべきではないか伺う。

区長 開催する予定はないが、周知・啓発方法を工夫するとともに、現在行っている取り組み内容を充実させるなど、平和の取り組みを発展させていく。

備を促進するに当たっては、ユニット型での整備を行っていく。(2)開設を検討している医療法人や社会福祉法人等から相談を受けた際には、適切に対応する。

新耐震基準の木造住宅へ助成を

問 都は助成に踏み出すが、受け皿となる区の制度が必要で、都は直接の助成を行わない。区として木造住宅の耐震診断、設計、改修にかかる助成について、新耐震基準の木造住宅も対象にすべきだが伺う。

区長 新耐震基準木造住宅に対する効果的な支援について検討する。

街を進化させ 災害に強く幸せ度の高い目黒を

フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会) **鴨志田 リエ** 議員

区有施設建て替えに30年間で2000億円計画は、街を進化させる好機である

問 (1)24の小中学校と施設の建て替えは区民の理解を得ながら計画を進めよ。(2)目黒区民センターと下目黒小学校建て替えに参入する民間事業者の自由度と区の財政負担を問う。

区長 (1)施設更新に係る経費と財政状況との関わりを分かりやすく伝えるなど、区民の皆さまに理解をいただきながら取り組む。(2)多岐にわたる課

題を多角的に検討しつつ、民間の提案の自由度を高めることで、新しい公共施設サービスを具体化する。また、事業費も明らかにしていく。

異次元の少子化対策は進むか

問 (1)こども家庭庁に何を期待するか。(2)少子化対策を怠ってきた国に對し子育て現場の声を具申せよ。

区長 (1)安心して子育て子育てができる環境の充実が可能となる支援を期待する。(2)区財政に大きな影響が出る場合は、全国市長会や特別区長会とも連携して対処する。

既存の枠にとらわれない発想で、区政を前に

新風めぐる **かいでん 和弘** 議員

問 目黒区の子ども・若者政策について話し合う「子ども施策推進会議」のメンバーに、政策の当事者である子どもや若者はいない。本人たちが意見を表明できるよう、子ども・若者枠の設置を。

区長 子ども条例第13条の趣旨である「区政、施設の運営や行事への子どもの意見を反映させること」を踏まえ、子ども・若者世代の参画を適切に図る。

問 渋谷区では昨年、区と災害協定を結んだうどん屋のキッチンカーや氣象予報士によるトークショー、AR(※)を使った避難体験など、通常の防災訓練の型を破る企画を盛り込んだ「渋谷防災キャラバン」を実施、多くの参加者を集めた(しかも6割が訓練に初参加)。目黒区でも、これまで避難訓練に参加したことのない層に参加いただけるよう、楽しめる訓練内容に改善すべきではないか。

区長 他自治体での新たな取り組みについても改めて情報収集し、より一層幅広い世代の参加が求められるよう、事業の魅力化に向け調査・研究する。

問 健診の受診者や、健康教室の参加者、ファミリー・サポート・センターの提供会員等、健康増進につながる取り組みをした方や、自治体の事業に協力いただいた方に、地域の商店で使えるポイントを付与する取り組み例が定まっている。目黒区でも、商店街連合会で開発中の商店街アプリと連携させることで、同様の取り組みができないか。

区長 令和5年度に予定している「オクトーバー・ランアンドウォーク」事業における参加促進策として、商店街アプリと連携させ、区民の健康増進を図る。この実績を踏まえながら、他の行政分野での活用について先行自治体の取り組み事例も参考にしながら検討する。

【用語解説】

※ 生物多様性を守るMY行動宣言 生物多様性を守るために、自分自身ができることを「MY行動宣言」として宣言し行動すること。

【用語解説】

※ AR 日本語では一般的に拡張現実と訳される。CG(デジタル情報)と実際にある画像や映像(現実世界)を組み合わせ、現実の世界に仮想空間を作り出す技術のこと。

一 般 質 問

公民連携事業でより良い目黒区を創りだせ！

自由民主党目黒区議団 **いその 弘三** 議員

問 地域の担い手として、中学生全年を対象に学校単位での救命講習を毎年定期的実施していくことを提案する。

教育長 各校の実情に配慮したうえで、中学生の普通救命講習の全年年での実施を通じて、子どもたちが自他の生命尊重を基盤として、安全で安心な

社会づくりに進んで参加し貢献できる資質・能力を身に付けることができるよう取り組む。

問 今後のごみ集積所の方向性について伺う。

区長 来年度、一般廃棄物処理基本計画を改定するに当たり、廃棄物減量等推進審議会から、戸別収集はコミュニ

ティ機能の問題や経費などを総合的に勘案して検討するべきであると答申を受けた。計画改定を通して、戸別収集は、慎重に検討する。

問 防災の観点と観光の観点からデザインマンホールについて伺う。

区長 消火栓の位置を分かりやすくすることは、防災上、重要であるが、多額の経費が予測されるため、趣旨を入れながら、他の方法を含め改善策を検討する。

問 目黒区にゆかりのある音楽を東京音楽大学の協力を得て音源を作り、

危機への万全な備えと 音楽のまちづくりで魅力ある街へ

公明党目黒区議団 **川原 のぶあき** 議員

区民を守る危機管理体制づくり

問 災害を経験した自治体の報告では、経験不足、知識不足等で機能不全に陥ったとある。実際に災害が発生した場合に災害対策本部が機能するよう、どう取り組むのか。また、職員

の知識向上にどう取り組むのか。

区長 来年度に予定している各部運営マニュアルの策定や図上訓練等の取り組みを継続的に実施することにより、配

置職員の知識向上に取り組む。

音楽のまちづくり事業について

問 総合庁舎内や、「めぐろオータムアート」の際のイベント会場で、ストリートピアノ(※)やストリートエレクトーンを設置し、区民が気軽に音楽を楽しみながら地域活性につながる公民連携による音楽のまちづくり事業の実施について伺う。

区長 区内各所のイベント会場にスト

リートピアノやストリートエレクトーンなどを設置することは、設置場所の選定や楽器の維持管理の方法、利用上のルールなどの課題がある。実現に向け今後検討する。

【用語解説】

※ ストリートピアノ 街中などの公共の場所に設置された、誰でも自由に弾ける状態のピアノ。